

AGRAV



Ultima

MUSIC ANCHOR
FOR CELLO, CONTRABASS,
AND AUDIO EQUIPMENT

Ultima とは

チェロやコントラバスのような楽器は、床から大きな影響を受けます。

楽器のエンドピンを直接床に刺すと、振動の一部は楽器に反射され、残りは床に伝わります。良い床だとさらにホールへと放射され、心地よいホールトーンが奏者にフィードバックを与えます。しかしながら、エンドピンを床に直接突き刺すことができる場所は限られます。

Ultima (ウルティマ) を使用することで、どのような床の状態でもいつもの環境で演奏することが可能となり、ホールで演奏しているような心地よいフィードバックを感じることが出来ます。付属の滑り止めシートと併用することで、優れたエンドピンストッパーとしての役割も果たします。

楽器用アンカー

質量の大きな金属をエンドピンと床の木の間にすることで、エンドピンそのものを含む金属部分での音の共鳴が生じます。楽器からの振動は外部にもう一つ共振器を設けたような形となり、そこに蓄えられた音のエネルギーは楽器に再び戻ります。

多くのインシュレーターやエンドピンストッパーとは異なり、Ultima は共鳴器としての特性を重視してデザインされた楽器用アンカーです。しっかりと楽器を支えるだけでなく、適度なフィードバックを楽器と奏者に与え、演奏の疲労も軽減します。

オーディオ機器用インシュレーターとして

楽器と同様にスピーカーも床や設置面からの影響を大きく受けます。

Ultima はスピーカーのスパイク受けとして使用することもでき、柔らかい床での音の環境を改善します。床との接点安定することでドライバーの動きがより正確になり、特に低域の焦点が合った再生音になります。

大型のアンプやプレーヤーの三点支持でも、がたつきを防ぐと同時に音質が向上することが確認されています。



素材と形状

音の伝わる速度は素材により異なります。複数の素材を組み合わせることにより効果的な振動の制御が可能ですが、楽器に使用する場合にはアタックがぼやけるなどの課題もあります。

ブロンズを旋盤加工して製造される Ultima のフィードバックは、音色を色付けすることなく、楽器の振動を増幅することができます。

Ultima は人間の聴覚の特性を取り入れた形状であり、素材自体の鳴りを抑えながらも、演奏者の楽器へのインプットを出来るだけ損なわないことを重視したデザインです。

AGRAV

AGRAV (アグラフ) は、JAXA をはじめとする先端産業での業務の実績を持つ、福岡県久留米市の有限会社洲上溶接が手がける音響アクセサリーのブランドです。

各分野のスペシャリストと共同で研究を行い、厳選された音響アクセサリーの開発に取り組んでいます。

Ultima ユーザー

粟谷 巧
Takumi Awaya - contrabass

伊賀 健一
Kenichi Iga - contrabass
東京工業大学 名誉教授 元学長 文化功労者

金澤 英明
Hideaki Kanazawa - contrabass

Tomeka Reid
トミーカ・リード - cello

Tamás Varga
タマーシュ・ヴァルガ - cello
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団主席

吉野 弘志
Hiroshi Yoshino - contrabass

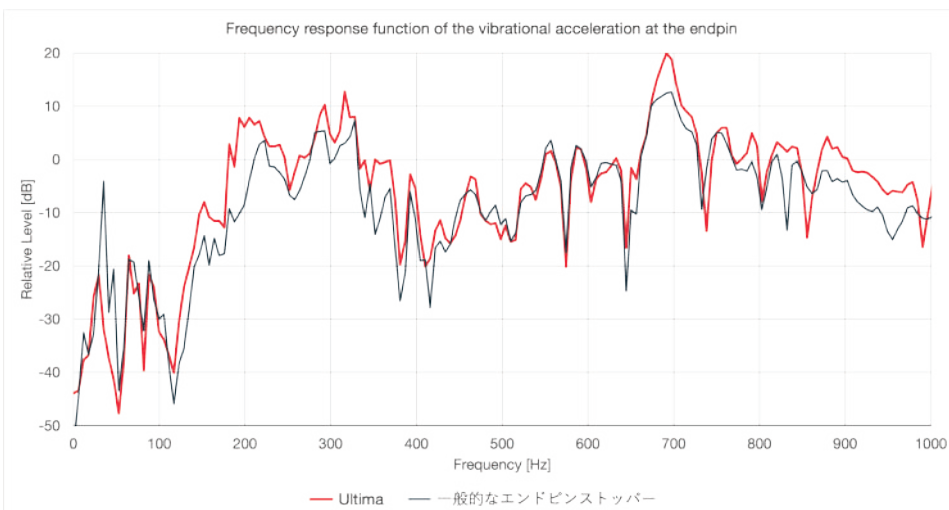
仕様

サイズ: 15 mm × 53 mm

重量: 245 g

材質: ブロンズ (青銅)

価格: 34,900円 (税込38,390円)



九州大学 (大学院) 芸術工学研究院 鮫島俊哉教授研究室 日本音響学会発表資料より

Ultima を使用することで低域から中域にかけての特性に違いが認められ、さらには*チェロの独奏音として重要とされる周波数帯域 800 Hz 付近でも有効であることが分かる。

*安藤由典, 楽器の音響学 (音楽之友社, 東京, 1996), 12.4 節